信州環境パートナーシップだより

環たまき vol.94

★循環型社会形成推進功労者知事表彰・自然保護活動等功労者知事表彰を行いました

★白馬高校ＤＩＹ断熱プロジェクト

★エコロジー掲示板
◎「信州発もったいないキャンペーン」
◎全国知事会のプロジェクトチームが要請活動を実施しました

令和元年度環境保全に関するポスターコンクール
高校生の部　最優秀作品
長野県伊那北高等学校2年　登内（とのうち）　桃香（ももか）さん

環境キーワード解説

『グリーンボンド』

グリーンボンドとは、環境改善効果のある事業に必要な資金を調達するために発行する、使途を限定した債券のことです。

長野県にも甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風をはじめとした自然災害による被害の回避・軽減（適応）と、その原因の一つとされている地球温暖化の影響の抑制（緩和）に取り組む施策を行うための資金調達として、県はこの10月に初めてグリーンボンドを発行しました。

調達した資金は、小水力発電所の設置や、しなの鉄道の車両更新に要する経費に充てられるほか、県有施設の省エネルギー化や土砂災害対策のための治山・地すべり対策、森林環境保全のための林道整備といった事業にも充てられます。

県は、2050年度までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることを宣言しており、グリーンボンドの発行を一つの契機として「SDGs経営が当たり前の長野県」に向けた機運醸成を図っていきます。

循環型社会形成推進功労者知事表彰・自然保護活動等功労者知事表彰を行いました。

長野県では、環境保全活動などに貢献された個人や団体を表彰しています。

【循環型社会形成推進功労者知事表彰】

循環型社会の形成に向け、廃棄物の適正処理及び再利用、資源化等の促進、啓発・普及及び指導・教育等に多大な貢献をされており、他の模範となる方々を功労者として表彰しました。

今年度の受賞者は以下のとおりです。(順不同・敬称略)

部　門	受賞者名	功績概要
事業者	株式会社北條組 (長野市)	工事現場等で分別の徹底、リサイクルの促進や産業廃棄物の削減に努め、ISO14001を取得するなど環境への負荷低減に取り組んだ。 廃棄物の再利用などにも積極的に取り組み、循環型社会形成に大きく貢献した。
個人・グループ･学校	真島町環境美化連合会(長野市)	多年にわたり、周辺地域の環境美化を行っており、「河川一斉清掃“クリーン信州 for ザ・ブルー”」に参加したほか、工夫を凝らした活動により循環型社会形成に大きく貢献した。
	鳥羽　啓路 (松本市)	多年にわたり町会環境衛生部長として、住民の先頭に立ち、ごみステーションの管理、ごみ分別指導など環境美化に大きく貢献した。 また、害虫駆除や街路樹の管理など地域の環境整備にも尽力した。
	唐木田　マスミ (松本市)	多年にわたり町会環境衛生部長として、環境美化のためごみステーションの管理や分別指導、リサイクルの推進等ごみ減量及び環境整備に尽力した。 また、町会内の公園、花壇の整備を行うなど環境美化に大きく貢献した。
その他	弓田　茂幸 (長野市)	市職員として多年にわたりごみ処理、し尿処理業務に携わり、環境衛生行政の担い手としてこれまでの知識や経験を活かし、廃棄物の適正処理に尽力し、循環型社会形成のために大きく貢献した。
	常田　浩司 (長野市)	市職員として多年にわたり、し尿処理業務に携わり、環境衛生行政の担い手としてこれまでの知識や経験を活かし、廃棄物の適正処理に尽力し、循環型社会形成のために大きく貢献した。
	柳町　勝好 (千曲市)	衛生施設組合職員として多年にわたり施設の維持管理等に尽力し、職員の模範となり廃棄物行政に従事した。 また、総責任者としてエコアクション21への取組、後進の指導、育成など循環型社会形成のため大きく貢献した。
	佐々木　忠博 (阿南町)	多年にわたり一般廃棄物収集運搬の業務に携わり、地域の資源ごみ排出の適正化のため尽力した。 また、地域の廃棄物の適正処理及び再利用、資源化の推進に努め、循環型社会形成のため大きく貢献した。

【自然保護活動等功労者知事表彰】

長野県の自然環境及び生物多様性を保全し、豊かな自然環境を後世につなげることについて、多大な貢献のあった方々を功労者として表彰しました。

今年度の受賞者は以下のとおりです。（順不同・敬称略）

部　門	受賞者名	功績概要
自然観察インストラクター	伊東　君江	自然観察インストラクターとして、10年以上活動し、かつ直近５年間で50回以上自然解説に取り組んだ。
長野県希少野生動植物保護監視員	青沼　幸夫	長野県希少野生動植物保護監視員として、多年にわたり活動し、かつ直近５年間で50回以上生息地又は生育地の監視指導に取り組んだ。

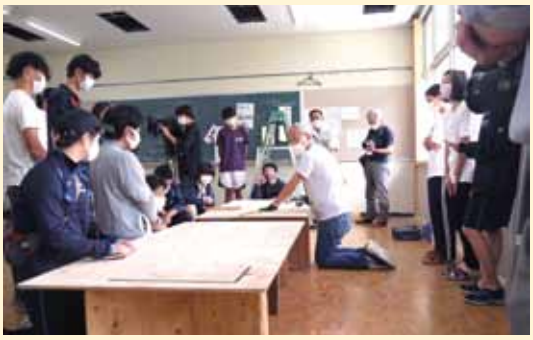
白馬高校ＤＩＹ断熱プロジェクト ～「快適さ」にもつながる省エネ～

白馬高等学校の生徒が中心となり、教室の断熱改修を行いました。

断熱改修を行うことで、外気からの影響が小さくなり、また室内の温度ムラが少なくなることで部屋が快適になり、同時に冷暖房の使用を抑えることにより気候変動の原因である二酸化炭素の抑制効果も期待できます。

９月に行われたワークショップでは、生徒ら約20名が参加し、一級建築士の講師から教わりながら天井や壁に断熱材を入れる作業を行いました。

次世代の社会を担う高校生が気候変動に気づき、自分ごととして学び、自ら行動を起こしています。



壁に入れる断熱材のカット方法を学ぶ参加者

天井に入れる断熱材の説明を聞く参加者

カットした断熱材を木枠に入れ込む参加者

報道陣からの質問に答える白馬高校の生徒（左から宮坂さん、金子さん、手塚さん）

改修前

改修後（ベニヤ板を取り付け、内壁との間に断熱材を入れた）

エコロジー掲示板

「信州発もったいないキャンペーン」～もったいない!!まだ、食べられるのに!～

日本では食品ロス（まだ食べられるのに捨てられる食品）が約600万トン発生していて、国民１人１日当たりでは約130ｇで、毎日お茶碗１杯分のご飯を捨てていることになります。
消費期限や賞味期限間近で値引きされている商品を購入し、使い切ることは環境にやさしい行動です！

●買い物でできること

買い物の前に冷蔵庫をチェックしましょう！
買い物リストをつくることも効果的です。
・必要な食材をこまめに購入する
・手前に陳列されている商品から購入する

●家庭でできること

予定を考えて、食べきれる量を作りましょう！
・残っている食材から使う
・食材を上手に使い切る

【問合せ先】長野県 環境部 資源循環推進課
TEL：026-235-7181　FAX：026-235-7259　E-mail：junkan@pref.nagano.lg.jp

全国知事会ゼロカーボン社会構築推進プロジェクトチームが要請活動を実施しました

全国知事会　ゼロカーボン社会構築推進プロジェクトチーム（リーダー：阿部守一　長野県知事）は、８月24日及び９月23日、国に対しゼロカーボン社会の早期実現に向けた要請活動を行いました。

【主な提言】
・国が自ら「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明し、リーダーシップをとって気候変動対策に積極的に取り組むこと。
・改定が予定されている次期（第６次）エネルギー基本計画では、「2030年に再生可能エネルギー発電比率40%超」といった意欲的な導入目標を設定すること。
・「脱炭素社会」の早期実現に向けて取り組む地方公共団体を支援するため、総合的な交付金を創設すること。

８月24日にオンラインで行われた要請活動の様子（左：阿部知事、右：小泉環境大臣）

【問合せ先】長野県 環境部 環境政策課
TEL:026-235-7169　FAX:026-235-7491　E-mail:kankyo@pref.nagano.lg.jp

発行日／令和2年10月30日
発　行／信州豊かな環境づくり県民会議
事務局／長野県環境部 環境政策課
TEL／026-235-7169(直通)
URL／https://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/kenminkaigi_tamaki.html

古紙配合率70%再生紙を使用しています
VEGETABLE OIL INK
古紙配合率70%再生紙を使用しています。